



2024年度

和歌山大学硬式野球部への入部をお考えのみなさまへ

先輩部員が質問に答えます！

(※こちらは弊社独自のものであり、大学、そして大学入試課とは一切関係ありません。)

和歌山大学硬式野球部部員の入学受験方法(2024年12月現在)

○推薦入試…経済学部学校型推薦：18人・学校型推薦(スポーツ)：2人

教育学部(地域【紀南】推薦枠)：2人

◎教育学部：3人

◎システム工学部：1人

◎観光学部：2人

◎社会インフォマティクス学環：1人

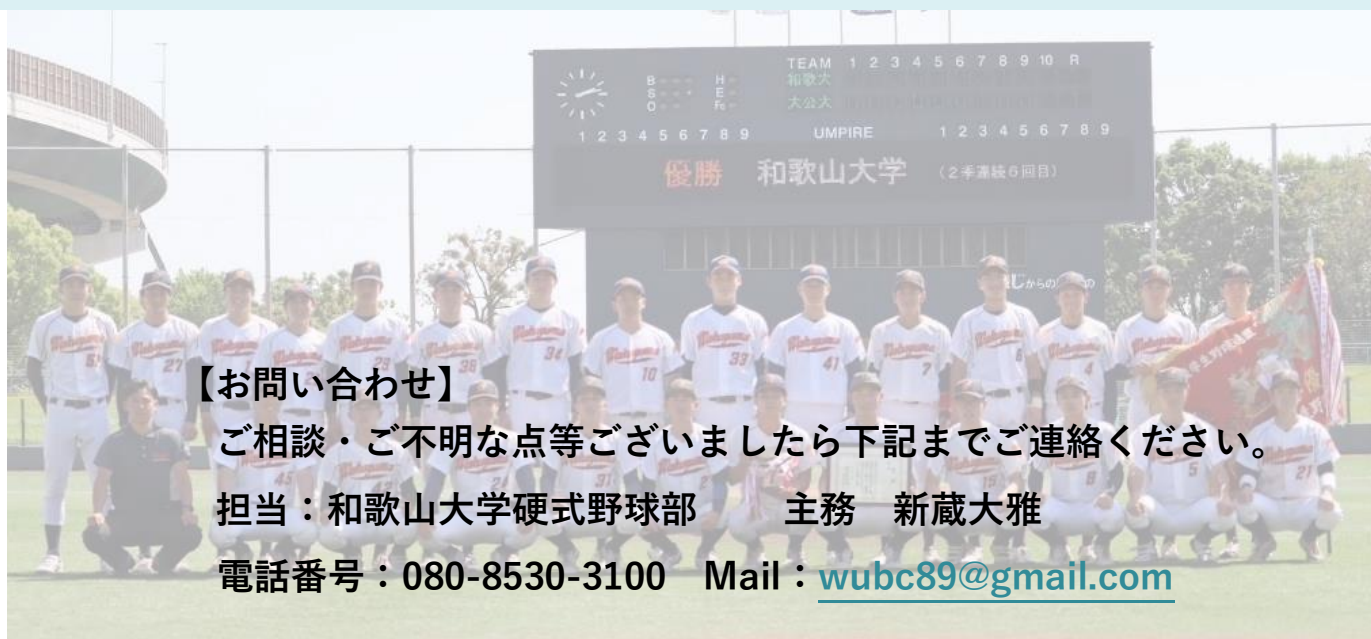
(↑◎印は大学入学共通テスト利用)

○和歌山大学一般入試(前期/後期)…経済学部：8人

教育学部(文系・理系・保健体育・美術又は音楽)：15人

システム工学部：4人

観光学部：1人



【お問い合わせ】

ご相談・ご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください。

担当：和歌山大学硬式野球部 主務 新蔵大雅

電話番号：080-8530-3100 Mail：wubc89@gmail.com

経済学部



3年生 岡本 齊悟 (奈良・桜井高校)
経済学部 学校推薦型選抜を受験
経済学部 一般入試(後期)で入学

◆経済学部の特色

経済学のみならず経営学、情報学、法律学など幅広い分野を学ぶことができますし、テレビにも出演されている先生もいらっしゃるので専門的にも学ぶことができます。

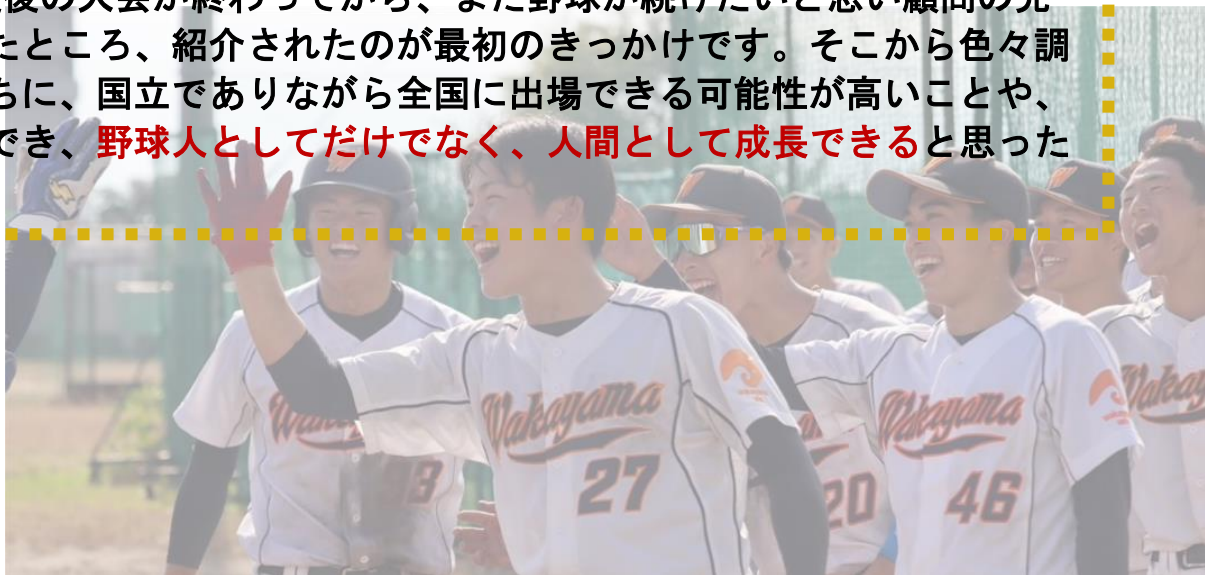
また、所属人数も多いので授業のグループワークなどでは様々な人と関わり合うことができます。**野球部も半数近くが経済学部**に所属しているので**授業や課題、進路についての相談ができる先輩**がたくさんいます。

◆どんなことを勉強できるか

将来就きたいと思う職業に合わせてプログラムを選択し、専門的に勉強できます。また、将来やりたいことが決まっていなくても、自分の選択肢を増やすための勉強ができます。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

高校3年の最後の大会が終わってから、まだ野球が続けたいと思い顧問の先生に相談したところ、紹介されたのが最初のきっかけです。そこから色々調べていくうちに、国立でありながら全国に出場できる可能性が高いことや、文武両道ができ、**野球人としてだけでなく、人間として成長できる**と思ったからです。



◆オンとオフの切り替えについて

練習がオフになることが少ないため、わずかなオフを精一杯楽しんでリフレッシュしています。一日オフにアルバイトを詰める選手、選手同士で京都や三重に遠出するなど各々が有意義な時間を過ごしています。

◆推薦入試から一般試験への切り替え方

後期試験は三教科で、二次試験の小論文対策は経済推薦の時にかなりしているという気持ちでいたので、焦りはありましたが何とかなるだろうと思っていました。今までの推薦対策は二次試験のためで、これからは3教科だけ頑張ろうという考えになれば気持ちは簡単に切り替えられました。



2回生 入江隼平（宮崎・延岡高校）
観光学部 学校推薦型選抜を受験
経済学部 一般入試(前期)で入学

◆受験学部の選んだ理由、複数の入試方法を経験して

私は観光学部の学校推薦型選抜と経済学部一般入試前期試験を受験しました。和歌山大学に入学し硬式野球部に入部することを目指すにあたって自分にとって有利になると考えこの二つの受験方式を選びました。観光学部の学校推薦型選抜では、面接と共テの英・社利用で社会が得意であると理由で受験しました。しかし、今思うと英語と面接を学校側は重視していたと思います。観光学部で学びたいこと、卒業してやりたいことのビジョンをしっかりと持っていないと厳しいと感じました。経済学部一般入試前期試験は、共通テストと英語をしっかりと固めておくと思いいます。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

私が、和歌山大学を目指したきっかけは高校野球を終えて不完全燃焼だった私は大学でも野球を続けることを決意しました。そして、親や指導者と話し合う中で、国立でレベルの高い野球をしているところを目指すことにしました。それが、和歌山大学を目指したきっかけです。候補には、九州の大学も上がりましたが今まで育った環境とは違うところに身を置きたいと考えました。



◆共通テスト オススメ勉強法

共通テストに向かって勉強するにあたって1番難しいことがモチベーションを持続させる事だと考えています。そこで、私が行った勉強法は100枚入りのルーズリーフを買って勉強したことを全て書きます。びっしりと書いたルーズリーフを捨てずに積み重ねていくというふうにやっていました。そうすることで、**自分の努力量が可視化されモチベーションを持続することができました。**共通テストの時には自分はこれだけやったと自信を持つことが出来ました。

1回生 金子紋乃丞（大阪・近畿大学附属高校）
観光学部 総合型選抜を受験
経済学部 学校型推薦で入学



◆受験学部の選んだ理由、複数の入試方法を経験して

初めに観光学部を受けた理由としては、和歌山大学に入るチャンスを少しでも増やしたかったからです。これを受験することで、観光学部総合型選抜、経済学部学校推薦型選抜、と推薦入試に落ちていても、経済一般入試で計3回チャンスを得ることができるという流れでした。入試の出願資格である英検二級の勉強を夏季大会中にしたのはしんどかったですが、それも、**与えられた環境で努力するという良い経験になりました。**また、観光学部総合型選抜対策で行った勉強が経済学部の学校推薦型選抜に活かしたのでそれも良かったです。





◆和歌山大学を目指したきっかけ

私の出身高校が近畿大学附属高校で、練習場所が近畿大学硬式野球部さんと隣接している環境でした。そして、私が2年春の時に、近畿大学さんのホワイトボードにVS和歌山大学と書かれていたのが始まりです。国立大学である和歌山大学が全国の舞台で戦っているということに興味を抱いた私は、インターネットで和歌山大学のことを調べました。すると、記事の中にノーサイン野球や野球への考え方が記されていてこのような環境で野球がしたいと思い、和歌山大学を志しました。

◆プレゼンテーション、グループディスカッションのオススメ練習法

おすすめの練習方法としては**新聞記事やニュースに書かれていることを自分の言葉で説明できるようにする事**です。

これは、特に小論文に役立つと思います。経済学部学校推薦型選抜の小論文では数百文字以内で要約せよ。という問題が多く出題されています。これに慣れるためにも日頃から自分の言葉で説明しようとする癖をつける事が大事です。練習方法とは少し違いますが大事なこととしては、とにかく経済に関する知識を覚える事です。共通テストを利用しない入試方法ですが、勉強量は共通テスト利用の生徒に負けないぐらいの気持ちで勉強することが合格する1番の方法だと思います。





教育学部



2回生 片山将希（和歌山・日高高校）
教育学部 地域【紀南】推薦枠を受験・入学

◆教育学部の特色

1回生の頃から教育実地研究という授業があり、早い段階から教師になるためのスキルを身につけていくことができます。また、へき地・複式教育実習という和歌山大学の特徴でもある実習があります。これは絶対参加ではないので、興味がある人は参加してみると良いと思います。

◆どんな事を勉強できるか

自分の学びたいことを自由に学ぶことができ、2年次からは自分の学びたい分野、種目を専攻することができます。ただし、実技系の試験を受けて合格した人は少し違います。小学校の教員免許取得は必修ですが、ほかにも様々な教科の免許や、資格を取ることができます。

◆紀南推薦入試 オススメ勉強法

紀南枠は小論文とプレゼンと個人面接の試験があります。**小論文の配点が一番高い**ので、まず小論文の勉強をした方がいいです。小論文はやればやるほどいいと思います。自分の型を決めて、その通りに書けば問題ありません。**時事問題の把握や言葉、熟語の意味などを理解しておくことも必要**だと思います。プレゼンは相手を見て、大きな声でハキハキと身振り手振りを加えて話す練習を何度も繰り返すことをおすすめします。私が大切だと思うことは、考えた文章を丸暗記するのではなく、ある程度の構成をしっかりと覚えることです。丸暗記するともし内容を忘れた時に対応しにくくなるからです。面接も同様です。**一貫性のあること**を話さないといけないと思います。



◆和歌山大学硬式野球部に入部して良かったこと

まずは**本気で野球できる**、ということが一番良かったことです。同じ目標に向かって突き進む仲間と練習することで、競争心が生まれ、自分自身の技術の向上を目指す環境ができていることが自分にとって良いと思っています。また、遠征など集団生活を通して将来的に社会で必要となってくる力や、礼儀など色々なことを学ぶことができることもよいことだと思います。



2回生 佐藤大和（北海道・札幌国際情報高校）
経済学部 学校推薦型選抜を受験
教育学部 一般入試(前期・実技系 保健体育)で入学

◆受験学部の選び方、複数の入試方法を経験して

自分が合格する確率の高そうなものを受験していました。和歌山大学の硬式野球部に入りたいという強い意志があったのでその中でも早めに合否が決まる経済学部の学校推薦型選抜と学校の先生についても興味があったので学校推薦型選抜に落ちた時は前期で教育学部を受験するように準備を進めていました。二つの入試方法を経験して、二つの受験方式は全く異なり人よりも勉強の量が多くなることから大変な部分は多かったですが、その分学ぶことも多かったので楽しかったです。

◆部活と勉強を両立するために

教育学部は授業も課題も多く、部活との両立は難しいですが、隙間時間を有効に使い勉強しています。**まずは授業をしっかりと聞くことが大事です！**



◆保健体育入試 オススメ勉強法

いろいろな種類の体力テストや実技を組み込んだ二次試験となっているので、適度な運動はしておいて損はしないと思います。共通テストが終わるまでは息抜き程度でいいと思いますが、共通テストが終わったら体づくりに専念しておくといいと思います。

◆和歌山大学硬式野球部に入部して良かったこと

『さざれ石共巖となれ』という言葉があるように、一人ひとりの能力や技量が私立大学に劣っていても、一つにまとまり結集し野球を考えてプレーすることで、相手の100の実力のうち80、70までしか試合で出させない、相手に隙を与えないような下剋上とはまた違うかもしれませんが、**這い上がり粘り強く勝っていくそんな和歌山大学の野球が楽しいです。**

システム工学部



3回生 空處玲(兵庫・洲本高校)

システム工学部 一般入試(前期)を受験・入学

◆システム工学部の特色

システム工学部は2023年より3領域8メジャー制による複合的な専門教育と、学部・大学院を通してより高度な工学的能力を実践的に身に付ける6年制教育が始まりました。さまざまなメジャーがあり、その分幅広い勉強ができます。





◆どんな事を勉強できるか

1年の間は工学に共通する基礎知識を主に学習し、2年から10種のメジャーに配属され専門的な勉強をすることができます。1年生の間にそれぞれのメジャーについて紹介を受けたり、体験をしたりすることができるので入学してから何を学ぶか考えることができます。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

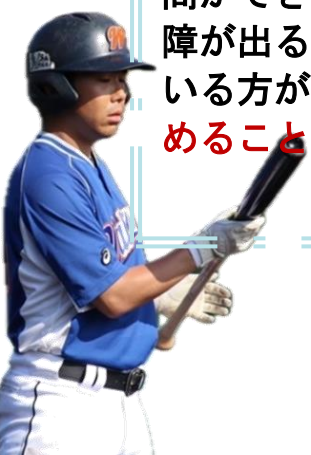
国公立大学で野球をしたかったこと、まだ将来の道が明確ではなかったのも様々な分野を学ぶことができ、入学してから専門を決められることがきっかけです。

◆システム工学部の進路について

メジャーによって進路は変わりますが、**技術系の研究職やエンジニア、ゼネコンなど様々な進路**があります。また、**半分近くの学生が大学院に進学**をします。

◆浪人生に向けて

私は1年間の浪人生活を経て和歌山大学に入学しました。毎日勉強ばかりで、成績が伸び悩むこともありつらい時期もありました。しかし自分に向き合う時間ができたので浪人して良かったと思います。大学に入学してからの生活に支障が出ることはありません。浪人していることから野球部に入ることを迷っている方がいるかもしれませんが、**ブランクがあっても入部後は体づくりから始めることができる**ので心配しなくても大丈夫です。



観光学部



2回生 掛江菜月(大阪・大阪桐蔭高校)
観光学部 学校推薦型選抜を受験・入学

◆観光学部の特徴

観光学部は、観光学を構成する「観光経営」「地域再生」「観光文化」の3つの基本領域をコンセプトとした1学科3コースからなる教育体系でカリキュラムが組まれています。実践型教育もとても充実しています。地域が抱える課題を住民とともに発見し、解決方法を考える地域インターンシップはとても魅力的なものになっています。私も実際、岸和田市山手地区の古民家活性化活動に参加させていただいています。地域の調査やメンバー、地域住民の方との話し合いを重ねている今、自分自身の成長も感じています。また、**国公立の観光学部は和歌山大学しかない**為、全国から学生が集まっています。話してみると方言の違いや文化のちょっとした違いに気づきます。そういったところも観光学部ならではの特色だと思います。

◆どんなことを勉強できるか

観光学部は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、**人文社会科学から自然科学まで幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラム**があります。そのため、自分が興味のある分野と観光の結びつきを学ぶことができます。また、日本文化演習、プロジェクト演習というユニークな実践科目もあります。日本文化演習では茶道の授業を受講し、プロジェクト演習では磯ノ浦ビーチでサーフィンの授業を受けました。**様々な分野を本格的に高いレベルで学べる**ことが観光学部の大きな魅力です。



◆大阪からの通学について

通学に約2時間かかり、当然和歌山に住んでいる部員よりも早く家を出なければいけないので時間的な制限はあります。しかし練習の開始時間は移動時間を考慮してくださるので大阪から通学することは可能です。電車移動の時間を有効に使うことができれば自由な時間を確保できると思います。また、大阪から通学している大阪組はみんな優しく仲が良いです！

◆マネージャーをしようと思ったきっかけ

私は高校時代チアリーダー部に所属し、母校野球部の「日本一」を応援団として経験させていただきました。大学では「日本一」という目標達成に向けて、マネージャーとして選手を直接的にサポートしたいと考えていたこともあり国立大学で野球の強い和歌山大学に興味を持ちました。マネージャー経験は無く、不安もありましたが、先輩方が一から優しく教えてくださりました。経験は無くても**やる気さえあれば大丈夫**です！「日本一」を目指して、共に熱い四年間を送りましょう！

◆オンオフの切り替えについて

私はしっかり計画をたてることで、切り替えています。授業時間、部活の時間、アルバイトに行く時間、課題をする時間、友達と遊ぶ時間など1日の予定を毎朝確認して生活しています。また、通学時間が長いため、通学時に資格や検定の勉強をして毎日の勉強時間を確保しています。



社会インフォマティクス学環



2回生 錦野哲平(青森・八戸学院光星高校)
社会インフォマティクス学環 推薦型選抜を受験・入学

◆社会インフォマティクス学環の特色

1つの分野に絞ることなく、経済学部、観光学部、システム工学部の授業を受けることができ、文系理系が入り交じっている少人数学部です。経済、産業、文化などの社会に対して、変革をもたらす情報技術により分析および把握を実践する人材の育成を目的とした文理融合型の学環です。

◆どんなことを勉強できるか

経済学、観光学、情報学やプログラミングなど、幅広い分野について学ぶことができます。また、学部を横断した学びを行うことにより他学部には無い学習ができます。ミクロ経済学や観光マーケティングなどの経済学・観光学分野における主要な知識を身に付け多様な社会活動を把握・理解できる能力を養うことや、プログラミングや人工知能などの工学分野における情報技術を用いたデータ分析にかかる基盤となりかつ汎用性の高い能力を涵養することを目的とした科目です。卒業の際には社会情報学の楽師が授与されます。



◆社会インフォマティクス学環を受験した理由

もともと情報学に興味があり、それに加えて経済学や工学を組み合わせるところに惹かれ受験しました。あとは少人数の学部ということで自分自身学びを深められると考えていました。**実際に凄く充実しているし人数が少ない分教員からのサポートも手厚く受けることができています！**また、幅広く学べることで将来に不安を抱えている人も夢が見つかるかもしれません！

◆学校推薦型選抜 オススメの勉強法

- 共通テストの勉強(特に数学)にひたすら取り組むこと。数学は文系入試理系入試問わずに必須になる科目なので数学でどれだけ差をつけられるかが勝負の分かれ目だと思います！また、得意科目で取れるだけ点を取ってあげる方が効率がいいです！学校推薦型選抜では、5教科全てが点数に使われる訳では無いので**苦手な科目を克服するよりも得意科目を伸ばしてください！**

◆和歌山大学硬式野球部に入部してよかったこと

最高の仲間に出会えることです！

- 同期はもちろん、先輩や後輩もいい人ばかりなのでみんな仲良く、でも時に厳しく毎日の練習に励んでいます！
- 普段ずっと一緒にいる仲間と共に戦って手にする勝利の喜びは他の何にも変えることができません！
- 是非和歌山大学と一緒に野球をやろう！！

